

お役に立ちます国有林

～民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ～

中部森林管理局

はじめに

中部森林管理局（以下、当局）では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化への貢献に向けて様々な取組を行っています。その中から特に民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に参考としてただけそのような事例を「お役に立ちます国有林」として取りまとめ、令和2年3月から当局ウェブサイトと冊子にてご紹介しています（図を参照）。

お役に立ちます国有林取組事例

ご紹介している事例は、「お役に立ちます」の題名にふさわしいものとなるように、当局の様々な取組の中から、民有林関係者の皆様が直面しておられる課題の解決のために参考となりそうなものとして、災害発生時の対応、低コスト化や省力化につながる新たな技

術・工法、シカ被害対策、木材の新たな需要拡大や供給方法、森林の多様な利用方法などを選定しました。例えば、災害発生時の対応では、豪雨により発生する流木による甚大な被害等への対策として、容易で安価な設置が可能となる既存の治山ダムを活用した流木捕捉工の開発についての取組（事例1）、木材の供給では、公共建築物や神社仏閣向けの特長な寸法・品質の木材を円滑に供給するため、木材市場を通じて行う受注生産の取組（事例2）の事例を紹介しています。掲載している取組事例の一覧は表をご覧ください。

また、この事例集の目次には、参考にしていただく方として「自治体」、「林業・森林土木事業者」、「森林所有者」の区分を示しています。

最後に

当局では、今後も民有林関係者の皆様からのご意見を積極的に伺いながら、国有林をフィールドとして様々な取組

管内概要

中部森林管理局は本州の中央部に位置する富山県、長野県、岐阜県、愛知県の4県内の国有林を管轄しています。

管内の国有林はほぼ本州中央部の山岳地帯に位置し、標高差が大きく、地形も複雑なことから自然的条件は変化に富み、垂直的にはカシ・シイなどの常緑広葉樹からなる低山帯、ブナなど落葉広葉樹を主体とする山地帯、トウヒ・シラベ・ダケカンバ主体の亜高山帯、ハイマツ主体の高山帯まで多様な森林を有しています。

また、これらのうち約3割はカラマツやヒノキを主体とした人工林であり、間伐などの森林整備を積極的に進めています。日本三大美林の一つとして名をはせた「木曽ヒノキ」を有する木曽地域をはじめ、木と人との長い歴史のある土地での森林づくりが進められています。



基礎データ

所 在 地	長野県長野市大字栗田 715 番地 5				
区 域 面 積	336万 ha	うち森林面積	243 万 ha	うち国有林	65万 ha
管 轄 区 の 関 係 県	4 県（富山県、長野県、岐阜県、愛知県）				

事例2

木材市場と連携した特殊な寸法や品質の木材の供給の概要

公共建築物や神社仏閣などの建設に必要な大径材や長尺材を円滑に供給するため、木材市場を通じた受注生産を行っています。

具体的には当局が丸太の販売を委託している原木市場が、大径や長尺の丸太が必要な方からのご相談を受け付けた場合に管内の事業地から供給できるか調べ、原木市場に出品して販売します。長野県木曽町の役場本庁舎・防災センター（木造平屋建て、延床面積2,645㎡）の梁・桁用材として、㊦㊦木曽ひのき、直径30cm上の丸太、長さ5m材を16本、長さ6m材を65本を、木曽官材市売（協）（原木市場）に出品して、材納入業者である木曽木材工業（協）に販売しました。



事例1

既設治山ダムを活用した流木捕捉工の開発の概要

平成29年九州北部豪雨による甚大な流木被害の発生等を受けて、より効率的に流木対策を進めるため、当局管内の既設治山ダム（約1万基）を有効活用する新工法「独立基礎型流木捕捉工」を開発しました。

「独立基礎型流木捕捉工」は、流木を直接捕捉する鋼製の柱とそれを支えるコンクリート製の基礎を、既設治山ダムの上流側に横断するよう複数基設置するものです。

この工法は、土砂掘削の後、縦穴を掘る際に用いるライナープレートを残存型枠として設置して、その中に基礎となるコンクリートを打ち込み、設置します。

試験的な取組みでは従来型の流木捕捉式治山ダムの新設に比べて施工が容易で安価（概ね25%減）になりました。また、危険な河川内での作業時間を短縮（概ね75%減）できました。



掲載している取組事例（令和3年7月現在）

参考となる皆様

		参考となる皆様		
		自治体	林業・森林土木事業者	森林所有者
1	災害発生時におけるヘリコプターによる迅速な調査	○		
2	既設治山ダムを活用した流木捕捉工の開発	○	○	
3	航空レーザ計測データの活用と共有	○	○	○
4	軽量フレームを使用した等厚コンクリート擁壁	○	○	
5	多様で健全な森林づくりへの取組 ～見える化プロジェクト～	○		○
6	有用広葉樹等の保残による植栽面積（本数）の削減	○		○
7	作業路網や中間土場の民国共同利用	○		○
8	伐採・造林一貫作業システムの推進による低コスト施業	○	○	○
9	低コスト造林 ～成果の見える化～	○		○
10	素材生産事業における労働生産性の向上	○	○	○
11	ついで捕獲、ついで見回り・通報 ～事業体、猟友会等のご協力によるニホンジカ捕獲～	○	○	○
12	ニホンジカ食害防除対策の現地展示と検討会開催	○	○	
13	ICTを活用したニホンジカ捕獲 ～ワナ見回りの軽減～	○		
14	信州プレミアムカラマツのブランド化	○	○	○
15	D材（端材及び末木枝条）の買受け希望者募集	○	○	○
16	木材市場と連携した特殊な寸法や品質の木材の供給	○	○	
17	国有林おさんぽ MAP ～国有林を歩いて健康づくり～	○		
18	森林環境教育を行う場所の提供	○		
19	多様な活動の森の協定を活用した地域振興	○		○
20	木曽谷観光産業の復興支援 ～中山道木曽十一宿パズルラリー～	○		
21	Google Earth を活用した民国森林情報の共有	○		○
22	Google ストリートビューを用いた観光資源の紹介	○		
23	付録：令和元年度の現地検討会等の開催実績			

を実証し、その結果を「お役に立ちます国有林」をはじめ様々な場面で発信することにより、森林の公益的機能の発揮と林業の成長産業化に貢献していきたいと考えています。



当局ウェブサイト
「お役に立ちます
国有林」



表 掲載している取組事例